



アーカイブズ 自治振興センター巡り

飯田市では合併した旧役場の史料を多く保存しています。明治から平成にかけての旧役場文書は、近現代史を知るうえで最も基本的な情報が書かれているものなので、この公文書がきちんと残されていないと、その地域の歴史がよく分からなくなってしまう可能性があります。

一般的に、市町村合併をすると多くの公文書が捨てられてしまいがちです。また、保存期限の過ぎた公文書は廃棄されていきます。現在の飯田市でも、地区によっては残されている公文書の量が少ないところもあります。しかし、飯田市では合併後も比較的多くの旧役場文書を自治振興センターの蔵などに保存しており、歴史研究所ではそれらの一部を複製して書架に並べ、公開しています。

「満洲信濃村建設書類」(旧松尾村、昭和11年)など



千代自治振興センターの蔵の中



下久堅自治振興センターの蔵の2階

旧役場史料にはどんなものがあるの？

旧役場文書には江戸時代の古文書も含まれていますが、だいたい町村制の施行された明治20年代からの行政文書を中心に残されています。村議会関係や土地台帳を始め、学校・社寺・交通・土木・税務等々の史料があります。それぞれの史料が時代を反映し、戦時中の史料のなかには満州移民に関係した書類や、竹槍の製法について書かれたものなども見られます。

継続的な調査をします

旧役場文書を保存し十分に活用するには、継続的な調査が必要です。現在、旧南信濃村の行政文書を年に数回、専門的な知識を持つ大学院生の方々と一緒に調査をしています。南信濃基幹集落センターには膨大な行政文書が保管されているので、それらを整理することで、旧南信濃村の歴史を知る基本史料群を整備したいと考えています。



旧南信濃村行政文書調査の様子 (南信濃基幹集落センター)

2009 飯田アカデミア

よしだ ゆたか

第54講座 講師 **吉田 裕さん**(一橋大学大学院教授)

専門の研究者を講師に、歴史研究の最前線を分かりやすく講義します。ぜひご参加ください。

場所 上郷考古博物館 1階会議室
(飯田市上郷別府2428-1)

講義
テーマ

「アジア・太平洋戦争の戦場と兵士」 1月16日(土)13:30~17:00

アジア・太平洋戦争には餓死・海没死・特攻死など、同時代の戦争にはほとんど例をみないような固有の死のありようがあります。この講座では、その点に着目して、アジア・太平洋戦争の戦場の特質を兵士の目線で再検討してみたいと思います。今までの戦史研究は、将来の戦闘のために過去の戦闘から「戦訓」を引き出すことに主眼がりましたが、この講座では民衆史や社会史の研究成果に学びながら、アジア・太平洋戦争期の戦場と兵士を再現してみるつもりです。また、生き残った兵士達が戦後史をどのような形で生き抜いたのかという問題にも、戦友会や戦争体験記の動向などを中心にしながら、できる限り触れたいと思います。

■講義時間 1講座は2コマ(1コマ90分)

■募集人員 30人

■受講料 200円(資料代) ※上郷考古博物館を見学される場合には、別途入館料が必要となります。(大人200円)

■申込み 電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

※電子申請 ながの電子申請サービス (<http://shinsei.e-nagano.lg.jp>) でもお申込みできます。

「飯田歴研賞2009」を受賞して

飯田市大瀬木1049 平田 正宏



奨励賞受賞作品
「破戒」のモデル・大江磯吉の生涯「忍と力」
著者 平田正宏

2009年度「飯田歴研賞」奨励賞

「最もよく耐え忍ぶものは、最もよくなし能う人なり」ミルトン(英)

「飽くまで忍べ、力は全てを解決する」大江磯吉

「忍と力」という書名は、上記の言葉からいただきました。

この本が本年度の歴史研究著作の一つとして、表彰の栄を賜りました。

受賞者一同を代表して心から感謝いたします。

「忍」とは、大江磯吉が貧しさに負けずよく努力して、貧困を克服したこと、又、出身による差別にあっても、却ってそれを成長の糧として大成したという自己への厳しさを指しています。

「力」とは、広く深い学力と、いつも明るく思いやりのある人徳によって、差別を克服したという高い学力と温かい心を指しています。

大江磯吉関係の資料を、図・表・写真等でまとめ、参考に供したものです。一つの参考文献として、その一里塚となればこの上の喜びはありません。受賞者を代表して、皆様方に重ねて心から感謝申し上げ、御礼の言葉とします。

第7回地域史研究集会に参加して

横浜市史資料室 吉田 律人

8月29日、30日の2日間にわたって催された飯田市歴史研究所主催の地域史研究集会では、中央の動向と飯田・下伊那地域の事例分析からアジア・太平洋戦争に至る過程が検証され、戦時下の状況に関して活発な議論が行われた。

今回、研究集会に参加して得た一番の収穫は、「戦争」の記憶を継承し、語り継ぐ方法についてである。冒頭の趣旨説明において述べられたように、戦争体験者が減少する今日、その記憶の継承は重要な問題であり、同時代の史料の発掘とともに、さらなる研究の進展が求められる。「横浜の空襲と戦災」関連資料を所蔵する横浜市史資料室も同様の課題を抱えており、「戦争」の記憶継承は全国共通の問題と言えよう。そうしたなか研究集会では、中央の歴史的な流れを踏まえた上で地域の事例分析が行われており、一地域の事例に捉われない「戦争」像を思い浮かべることができた。地域に根差しつつ、大きな歴史的な流れを見据える研究集会の構成は地域史料から「戦争」像を語る方法を考える上で大いに勉強になった。研究集会など飯田市歴史研究所の取り組みは極めて重要であり、地域の記憶装置としての役割に今後とも期待したい。

地域史講座 シリーズ 松尾大森本の家と 周辺の社会

今年発行されました「史料で読む 飯田・下伊那の歴史1 松尾大森本の家と周辺の社会」を素材に、松尾地区やその周辺の社会を考えるシリーズの第2回目です。

●12月12日(土) 午後2時~午後4時

「教化運動と経済緊縮問題」

・講師 齊藤俊江
(調査研究補助員)

「飯田の防空体制」

・講師 清水迪夫
(調査研究補助員)

・場所 りんご庁舎 3階会議室

実践的に歴史研究の方法を学ぶ講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

■時間 午後7時～8時40分
(各ゼミ共通)

近世史ゼミ

■開催日
12月1日・15日
／1月19日
(第1・第3火曜日)
■担当 竹ノ内雅人
(研究員)

建築史ゼミ

■開催日
12月8日／1月12日
(第2火曜日)
■担当 金澤雄記
(研究員)

近現代史ゼミ

■開催日
12月10日・24日
／1月14日・28日
(第2・第4木曜日)
■担当 田中雅孝
(調査研究員)

市民の声

遅まきながら

橋部 進 (市民研究員／近現代史)

還暦をすぎて「市民研究員」にさせていただきました。2年間、地域史をしっかりとやってみる、と云うことと理解し、感謝しています。

この年齢になりますと、自然に「もう後がない」という意識になります。出来ない、或いは、やらない理由を並べたてる人生にこのあたりで区切りをつけて、「やってみよう」人生へと、意識的にギヤシフトしてみようと思いたちました。

わたしにとって近現代史は、たとえば、40年以上前自分自身の意気地なし故に別れてしまった「恋人」のようなものであります。その意味では、それはずうっと「去年の雪」であり続けました。

この数年間、飯田市歴史研究所の催したる市民ゼミに参加させていただきました。老後の趣味を見つけた気がしました。「恋人」は美しいまま待っていてくれたのでした。

ところで、この研究所にて、わたしにとって幸運な遭遇がありました。「胡桃澤盛日記」であります。この日記については先日地域史研究集会にて紹介させていただきましたので繰り返しません、これの「読み解き」を2年間のメインテーマにしたいと考えています。

20余年に亘るこの日記が編集の完了により全貌をみせた時には、あの時代にこの地域を生きた人々の群像が新たにそして鮮烈に浮かび上がるだろうと考えています。

「知」の修業について経験がないわたしにとって、指導をしてもらいながらの地域史勉強の機会は、大変有難いことと思っております。

遅まきながらではありますが、衰えた脚に鞭を打ちながら、行き着けるところ迄行くしかあるまいと考えているところであります。



リレーエッセイ

建築史ゼミ－見て分かる歴史史料－

金澤 雄記 (研究員)

建築史ゼミを受け持って1年半余り、毎回10名程度のご参加をいただいています。月に1度、参加者が調べた関心事を持ち寄り、報告し意見を出し合うことを行っています。また不定期に実際に建物や町並みを見るフィールドワークも行っています。私自身も学ぶところが多く、皆で楽しく学び合っています。

飯田・下伊那の歴史的建造物の現状は、旧市街地は大火があったものの、この地域以外では比較的上質の建物が残存しています。しかし、例えば

本棟造であれば建築から150～200余年、養蚕建築であれば100余年経過していますので、他地域同様、取り壊しの例も増えています。今後何をどのように維持管理、そして保存活用していくかということが課題となってきます。

そこでまずは現状を見て知ることを目的に、主に普段非公開の建物の見学を企画しています。歴史的建造物は視覚的に歴史を感じ取れる歴史史料であり、また逆に実物を見なければ分からない部分も多々あります。ご興味のある方は建築史ゼミに是非ご参加ください。

2009.10.31 建築史ゼミ見学会
竹ノ内家住宅 (高森町 国指定重要文化財)
石置板屋根葺替修理工事現場



歴研日誌

10月

- 1日 市民研究員着任
宮川啓子氏、宮川清助氏聞き取り（下久堅南原）
- 3日 アカデミア第52講座 テーマ1「建築の保存と長野県の文化財」
- 4日 アカデミア第52講座 テーマ2「文化財建造物を安全に守る」
—後藤治さん（りんご庁舎3階会議室）
- 6日 近世史ゼミ「千代 藤本氏文書 指上申御請状之事」
- 7日 飯田市公民館非現用公文書調査
- 8日 近現代史ゼミ「聞き書き集編集」
出張講座「喬木村の満洲移民」
—齊藤俊江調査研究補助員（喬木公民館）
- 13日 建築史ゼミ「木曾の本棟造2」
- 13日 飯田市公民館非現用公文書調査
- 14日 飯田市公民館非現用公文書移管
- 15日 「丘の上」研究会
- 17日 定例研究会「飯田藩領寺社の基礎的考察」
—竹ノ内雅人研究員
- 20日 近世史ゼミ「鋏胤・胤雄から稲雄・信允宛
篤胤稿本保管の礼状（書簡）」
- 21日 平和資料収集委員会—池田勇太研究員
出張講座「移民と外国人労働者」
—本島和人調査研究員（松商短期大学）
- 22日 地域史講座（近世史）—竹ノ内雅人研究員（松川高校）
近現代史ゼミ「歴史賞受賞記念会」
- 23日 県史料協講習会
- 27・28日 職場体験学習—竜峡中学2年生
- 29日 地域史講座（近世史）—竹ノ内雅人研究員（松川高校）
- 31日 建築史ゼミ 建物見学会
地域史講座「松尾大森本の家と周辺の社会
シリーズ1—八幡宮と嶋田村」
—竹ノ内雅人研究員（松尾公民館2階講座室）
- 2・15・28日 建造物調査（本棟造）

11月

- 4日 地域史講座（近世史）—竹ノ内雅人研究員（松川高校）
- 5・6日 篠田貞三氏所蔵文書調査—本島和人調査研究員・
齊藤俊江・向山敦子調査研究補助員
- 5日 建造物調査（本棟造）
- 6日 長野県史料保存活用連絡協議会
—池田勇太研究員（長野県立歴史館）
- 7日 上飯田村地引絵図展示・説明
—竹ノ内雅人研究員（羽場公民館）
- 10～28日 職場訓練実習—飯田ゆめみらいICTカレッジ実習生
- 10日 建築史ゼミ「裏界線」
- 11日 出張講座「派遣労働と流動化する雇用」
—本島和人調査研究員（松商短期大学）
飯田観光ガイドの会研修会建築史講座
—金澤雄記研究員（市役所）
- 12日 近現代史ゼミ「安条約50周年をふりかえる」座談会
- 14日 まちづくりシンポジウム・展示・研究報告
—金澤雄記研究員（小布施町まちづくり研究所）
アカデミア第53講座 テーマ1「江戸の浄瑠璃文化」
アカデミア第53講座 テーマ2「淡路の人形芝居と飯田」
—神田由築さん（りんご庁舎3階会議室）
- 17日 近世史ゼミ「19世紀飯田藩領の商売物」
- 18日 地域史講座（建築史）—金澤雄記研究員（松川高校）
- 19日 「丘の上」研究会
- 21日 鎮西徹氏所蔵文書調査
- 22～24日 南信濃史料調査合宿（南信濃基幹集落センター）
- 24日 地域史講座（建築史）—金澤雄記研究員（松川高校）
- 26日 近現代史ゼミ「聞き書き集編集」
- 28日 定例研究会「昭和17年11月の飯田市—篠田貞三氏所蔵
史料を中心に—」—本島和人調査研究員

■継続調査 部奈一朗氏所蔵文書、松澤卓治氏所蔵文書、上松家所蔵文書、北原嘉雄氏所蔵文書、小林八十吉氏文書、座光寺久男氏所蔵文書、今村八束氏所蔵文書、岩戸久義氏所蔵文書、本多広文氏所蔵文書、松田初美氏所蔵文書、田中伍市氏関係史料、中原謹司氏史料、嶋岡和治氏所蔵文書、篠田貞三氏所蔵文書、鎮西徹氏所蔵文書、虎岩区有文書、南信濃自治振興センター所蔵文書、佐々木登志男氏資料、飯田市公民館非現用文書

史料の情報をお寄せください

歴史研究所では古文書や近代以降の日記・手紙類だけでなく、写真などの資料もあわせて整理し、目録を作成して、この地域の歴史研究に役立てるよう調査活動を続けています。

特に、旧飯田町・上飯田町（村）の地域を重点に置き、歴史的史料の収集や研究活動を行っております。古文書だけでなく、近現代の手紙や古い写真など、当時の暮らしが分かる文字史料・絵画史料について情報をご存じでしたら、ぜひ歴史研究所までご連絡ください。

定例研究会

研究活動促進のため、定期的に公開研究会を開催しています。

1月30日（土）
「維新时期における飯田藩の藩政改革」
講師：池田勇太（研究員）

場所：歴史研究所 2階研修室
時間：午後2時～4時

12月・1月の催事スケジュール

12月		1月	
火	近世史ゼミ NL43発行	1	金
水		2	土
木		3	日
金		4	月
土		5	火
日		6	水
月		7	木
火	建築史ゼミ	8	金
水		9	土
木	近現代史ゼミ	10	日
金		11	月
土	地域史講座	12	火
日		13	水
月		14	木
火	近世史ゼミ	15	金
水		16	土
木		17	日
金		18	月
土		19	火
日		20	水
月		21	木
火		22	金
水		23	土
木	近現代史ゼミ	24	日
金		25	月
土		26	火
日		27	水
月		28	木
火		29	金
水		30	土
木		31	日

開所日 休所日

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日